

「第5回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」 を開始

研究者には総額 250 万円を助成

株式会社マンダム(本社:大阪市、社長執行役員:西村元延 以下マンダム)は、動物実験全廃に向けた動物実験代替法の開発に取り組んでいます。その研究の一環として、昨年に引き続き「第5回マンダム動物実験代替法国際研究助成金公募」を行います。

【動物実験代替法マンダム国際研究助成金公募】

動物実験代替法に関する研究を進めるために、昨年に引き続き「第5回動物実験代替法マンダム国際研究助成金公募」を行い、世界中から動物実験代替法に関する研究テーマを募ります。

2011年3月までに実施した3回の研究助成金公募にて、韓国から応募の研究者も含め9件の研究助成を実施し、うち第3回の研究助成テーマ2題については、11月10日より宮城県建設産業会館(仙台市)にて開催される「日本動物実験代替法学会 第24回大会」内にて、研究報告が行われます。また昨年募集した第4回研究助成金公募は3件の研究テーマが選出され、2011年4月から研究助成を開始しています。

本助成金の目的は、動物実験代替法における研究を広く奨励し、代替法分野における研究の活性化を図ることにあります。代替法分野の研究が活性化することによって、社会に貢献することが可能であると考えます。

募集要項

- ①テーマ 動物実験代替法に関する研究(研究分野は問わない)
- ②助成内容 1件あたり50万円~200万円、総額250万円/年間
- ③スケジュール 2011年 11月1日(火) 募集開始
2012年 2月29日(水) 募集締切
2012年 3月上旬~ 選考開始
2012年 3月下旬 助成対象者発表
2012年 4月1日(日) 助成開始(1年間)

募集要項詳細につきましては、以下のHPをご覧ください。

日本動物実験代替法学会 HP(URL: <http://www.asas.or.jp/jsaae/>)

【動物実験代替法が開発される背景】

近年世界各国で動物愛護運動が高まっています。それに伴い、欧州連合(EU)では、2004年から化粧品の最終製品に対して、また2009年3月からは化粧品の原料に対しても、動物実験が禁止になりました。2013年には、動物実験を行った原料を含む化粧品の製品すべてが販売できなくなる予定です。日本でも、3Rs(Replacement:動物実験の置き換え、Reduction:動物使用数の削減、Refinement:実験時の動物への苦痛の軽減)の概念に則って、動物実験の見直しが動物愛護の観点から社会的に重要視される傾向があり、動物実験代替法の開発が活発になってきました。

一方、化粧品の安全性は、様々な方法で確認する必要があります。マンダムでは、現在可能な限り動物を使用しない方法にて評価を行っていますが、今後さらなる安全性確保のためには、より進んだ動物実験代替法の開発が急務となっています。現在3Rsの中でも、「Replacement」に着目し、動物実験代替法の開発に取り組んでいますが、その一環として、動物実験代替法研究への公募による助成を行っています。

以上